

## アンコンシャス・バイアスについて



みなさんは「アンコンシャス・バイアス」という言葉をご存じでしょうか？心理学の概念である「認知バイアス」のひとつで、自覚しない無意識の偏見や思い込みで物事を見るということです。昔からの慣習や見かけで、

【消防士は筋肉質で運動神経のよさそうな男性】

【看護師は白衣を着た優しそうな女性】

というように、思い込みで判断することです。

令和5年7月に前橋市消防局中央消防署の小池救急隊長と城南分署の消防士山田副士長に取材させていただきました。「消防士になった動機」、「女性消防士ということで、周囲からどのように見られているか」、「男性の多い職場で意識していること」、「男女共同参画について思うこと」などを中心にお話を伺いました。

志望動機は「経済的に自立できる」「誰かのためになる仕事がしたいと思った」と話されていました。救命士は、救急車に乗車し病院までの搬送の間に専門的な救命処置を行い、消防士は火災や事故、災害などから地域住民の安全を守る役割を担います。力仕事が多い職場ですが、困ったときは周りの職員が助けてくれるそうです。もちろん、日々の体力作りもしているとのことでした。



中央消防署の小池救急隊長



城南分署の消防士山田副士長

結婚や出産で離職する女性も少なく、男女の区別なく活躍できる職場です。現場では、女性ということで驚かれたことはありますが、女性の救急患者などは安心する方も多いようです。

署内の施設は、女性専用のトイレや仮眠室などが完備されていて不自由はないそうです。お二人とも、市民の生命財産を守るという使命を強く持っておられます。

市では女性活躍の推進を行っており、女性消防士を全体の5%にすることを目標としています。

消防の世界も男女共同参画のすばらしい職場だと知っていただけなら嬉しいです。(記事：中山)